



↑青壮年部員のブリさばきを食い入るようにつめる生徒たち

## ★ 地 獅子島中でブリのさばき方実習 元漁師の手ほどき受ける

獅子島中学校は2月20日、全校生徒28人を対象にブリのさばき方実習を実施しました。

東町漁協青壮年部で獅子島在住の7人が水産業理解拡大のために講師を務めたこの実習。生徒たちは本町の特産品である養殖ブリのさばき方や調理方法を学びました。

はじめに幣串の池田光成さんが全生徒を前にブリの3枚おろしを実演。続いてグループに分かれて同部員の手ほどきを受けながらブリに包丁を入れていきました。

生徒たちがさばいたブリは、さしみやブリ汁、照り焼きに仕立てられ、実習に参加した全員で試食しました。

↓太鼓をたたく間合いを教わる児童たち



## ★ 原木 50本に種駒打ち込む

長島中でシイタケ栽培

長島中学校1年生38人は2月25日、県北薩地域振興局の協力を受けて、シイタケの駒打ちを体験しました。

同校は、生徒たちに森の大切さについて考えてもらおうとこの体験を毎年実施しています。生徒たちは、振興局職員から手ほどきを受けながら、ドリルで原木50本に穴をあけ、シイタケの種駒を打ち込みました。

手際よく作業をこなしていた門元光生君は「ドリルでの穴あけが楽しかった。大きく成長してほしい」と収穫が待ち遠しい様子でした。



↑ドリルや金づちを使い、原木に種駒を打ち込む生徒たち

## ★ バチを握ってヤァ！ドンッ

伊唐小で和太鼓教室

2月3日、野田郷島津太鼓のメンバーが伊唐小学校を訪れ、体育館で和太鼓教室を開きました。

この教室は、和太鼓の魅力を児童たちに味わってもらおうと企画されました。はじめに島津太鼓のメンバー4人が、ライブ演奏で児童たちを魅了。続いて全校児童15人がバチを握って、「ヤァ！」と大きな声をかけ、「ドンッ」と力強い太鼓の音を響かせました。

この教室を通して、同校が取り組む竹太鼓への意欲づけにも役立ちました。